

平成 20 年 8 月 12 日

博士論文審査結果報告書


報告番号 医博甲第 1986 号

学籍番号 _____

氏 名 亀田 幸枝

論文審査員

主 査 (職名) 島田 啓子 (教授)  印

副 査 (職名) 坂井 明美 (教授)  印

副 査 (職名) 塚崎 恵子 (教授)  印

論文題名 Development of an empowerment scale for pregnant women

(妊婦のエンパワメントスケールの作成)

<論文内容の要旨>

本研究は、妊婦のエンパワメント向上や出産前教育の評価に活用するために、妊婦のエンパワメント尺度を作成し、その信頼性と妥当性を検討したものである。尺度作成プロセスとして、まず、母性看護および他分野からの文献レビューを行い、助産学研究者 3 名と出産前教育のエキスパート間で測定概念を検討した。妊婦のエンパワメントを「他者や環境との相互作用を通じて、自分が望むような妊娠生活や出産に向けて、内発的な心理エネルギーが増大すること」と定義し、妊婦 5 名へのプレテスト後、8 つの下位概念からなる 42 項目の尺度原案を作成した。次いで、北陸地方の産科施設で健診を受けている妊婦 173 名を対象に無記名自記式質問紙調査を行い、有効回答 171 名を分析対象とし、尺度項目の決定および妥当性・信頼性を検討した。I-T 相関、探索的因子分析などによる検討から、最終的に 5 因子 27 項目を採択した。第 1 因子「Self-Efficacy」(6 項目)、第 2 因子「将来のイメージ」(6 項目)、第 3 因子「Self-Esteem」(7 項目)、第 4 因子「周囲からの支持・保証」(4 項目)、第 5 因子「家族が増える楽しみ」(4 項目)と解釈でき、尺度原案作成時の構成概念と内容妥当性は概ね支持できた。また、本尺度の合計得点と Locus of Control 尺度得点との相関係数は 0.517 ($p < 0.001$) を示し、尺度の基準関連妥当性は支持された。尺度全体の Cronbach's α 係数は 0.89、サブスケールの α 係数は 0.80~0.67 であることから、尺度の内的整合性が確認された。以上より、本尺度の信頼性と妥当性は、概ね支持された。

<審査結果の要旨>

本論文は、助産師が行う出産前教育について、従来から経験と研修から個人研鑽されながらも効果測定が曖昧なため、客観的な評価尺度の開発に着手した基礎的研究であった。なかでもエンパワメントの概念を導入してアウトカム変数に位置づけられておりオリジナルな研究であった。本尺度の信頼性と妥当性は検証され実践への適用可能性を示唆したと同時に発展的研究を期待できることから、博士(保健学)の学位を授与するに値すると評価した。